

大麦特報(第5号)

平成30年4月23日
砺波農林振興センター
となみ野農業協同組合

今年の生育は、全体的に平年より遅れていて、
ほ場間の差が非常に大きくなっています。

**赤かび病 1 回目防除は、
4/27 ~ 5/8 頃と予想されます。**

1. 赤かび病の防除について

防除適期に確実に2回散布を行いましょ！

今年は、特に(地区別・経営体別・播種時期・土壌条件などによる)、生育の進み具合の、
ほ場間差が大きくなっています。生育に応じた散布適期に防除を行いましょ。

<<< 特に1回目の穂揃期(開花始め)防除を遅れないように! >>>

防除時期	防除時期	剤型	使用薬剤	希釈倍率	散布量/10a
1回目 穂揃期 (出穂期の3日後頃で 開花始め)	4/27 ~ 5/8 頃	液剤	トップジンM水和剤	1000倍	150ℓ
		粉剤	トップジンM粉剤DL		4kg
		無人ヘリ	トップジンMゾル	8倍	0.8ℓ
2回目 (1回目防除 の7日後)	5/4 ~ 5/15 頃	液剤	シルバキュアフロアブル	2000倍	150ℓ
		粉剤	ワークアップ粉剤DL		3kg
		無人ヘリ	チルト乳剤25	8倍	0.8ℓ

注①: 出穂期は、ほ場全体の40~50%の茎の穂の一部が葉鞘から現れた時

**注②: 穂揃期は、ほ場全体の90%の茎の穂の一部が葉鞘から現れた時
(出穂期の3日後頃・開花始めの時期)**

注③: 薬剤散布は、散布後4時間程度以上の晴れ間を見込んで行いませしょ!
(散布直後に降雨があると、効果が劣ります)

2. 排水対策の徹底

- ・隣接する水田や用水路から水が入っていないか、水口や排水溝を点検しませしょ。
- ・水がたまっているほ場は、排水溝や排水口の手直しを行い、速やかにほ場の外へ排水してください。